

【表 3・(3)】研究成果(13)

サブテーマ名：循環器系疾患等に対する道産食素材の評価と開発 小テーマ名：高コレステロール血症モデル・糖尿病モデルに対する道産食素材の効果															
サブテーマリーダー 研究統括 東 市郎(兼) 研究従事者 株式会社新薬開発研究所 北村恭吾															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 循環器系疾患改善総合評価確立研究の一環として、高コレステロール、糖尿病モデル動物実験系を確立する。 研究の独自性・新規性 道産食素材の高コレステロール、糖尿病モデル動物試験の簡便高速化研究に新規性がある。 研究の目標(各フェーズ毎に数値目標等をあげ、具体的に) 道産食素材の血流改善効果評価(フェーズ ) 簡便・高速なモデル動物実験系確立(フェーズ ) <span style="float: right;">達成率 80%</span>															
研究の進め方及び進捗状況 実験動物用細胞マイクロロジー測定法並びにシンバイオティック食素材評価用の血中脂質、胆汁酸代謝実験系を確立する。															
主な成果 具体的な成果内容： 実験動物用マイクロロジー測定法を確立し、タマネギ化合物に血流改善効果を発見した。 シンバイオティック食素材評価実験系が確立でき、血中脂質改善試験と糞便胆汁酸試験の同時評価が可能となった。  特許件数：0      論文数：0      口頭発表件数：1															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 実験動物によるマイクロロジー測定は希少性が高い。 今後、シンバイオティック食素材評価試験の発展が図られる。  2 実用化に向けた波及効果 ヒト介入による評価試験で有効性が高い。															
残された課題と対応方針について ヒト介入試験プロトコル確立が不可欠で、フェーズ に対応。															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	5,413	12,985	7,614	13,968	0	0	39,980	23,000	48,000	36,396	8,140	2,050	0	117,586	157,566
設備費	9,497	7,869	4,995	0	0	0	22,361	4,700	11,480	34,470	30,000	0	0	80,650	103,011
研究費	8,220	11,662	3,728	1,000	0	0	24,610	23,000	25,520	27,000	11,868	3,270	0	90,658	115,268
旅費	485	1,227	440	285	0	0	2,437	0	0	0	0	0	0	0	2,437
その他	473	935	869	949	0	0	3,226	740	1,280	2,700	285	0	0	5,005	8,231
小計	24,088	34,678	17,646	16,202	0	0	92,614	51,440	86,280	100,566	50,293	5,320	0	293,899	386,513
代表的な設備名と仕様 [既存(事業開始前)の設備含む] JST負担による設備：細胞マイクロロジー測定装置 地域負担による設備：動物飼育装置															